

健康づくり・人づくり

# 健康経営

健康経営をお客様への価値提供に活用している代理店さんから、そのお取り組みや効果等について寄稿いただきました。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

## 従業員とその家族の健康こそ、会社の財産！【株式会社アルシンの取り組み】

当社は1948年に設立後、組織変遷の後に2018年6月から現在の社名にて新たなスタートを切りました。当社が目指すのは、全員が互いに助け合い、ワークライフバランスのとれた健康優良企業です。「従業員およびその家族の健康」が企業の財産と考え取り組みを始めました。現在、職場では、毎朝血圧の測定やラジオ体操、年1回の社員旅行などの取り組みを行っています。2019年2月には健康経営優良法人（中小規模法人部門）の認定をいただきました。その後は保険代理店の使命として、当社の従業員だけでなくお取引先の法人のお客様、そこで働く従業員の皆様のことも考え、健康経営を軸に団体超GLTDや従業員の福利厚生制度としてのナイスパートナーのご提案などを進めてきました。人材採用の悩みを抱える建設業のお客様に、ナイスパートナーの提案をしたところ、今いる従業員に長く働いてもらうための一手段として、制度の必要性を感じていただき、導入へ至りました。今後も当社の



株式会社アルシン  
（福島支店 福島支社）  
代表取締役  
阿部 幸さん



東京海上日動  
福島支店 福島支社  
おの なぎさ  
小野 風咲 副主任

担当社員  
の声

アルシンさんは健康経営が始まる以前より従業員が明るく元気に働ける企業を目指すことを経営目標とし、日頃から長く働ける環境づくりを意識したお取り組みをされていました。従業員の皆様も自社の健康経営の取り組みを営業活動にいかし、人材不足に悩む中小企業に対し、福利厚生としてナイスパートナーの導入をご提案することで、人材不足の解消につながる取り組みを行っています。当社も2019年度の健康経営の認定からご支援をしていますが、引き続きアルシンさんの思いとともに、企業へ健康経営の認定サポートや今後始まる運送業者向けの働きやすい職場認証制度のご支援に取り組んでまいります。

目指す健康経営の思いをお客様とも共有し、保険の提案を続けていくとともに、従業員が心身ともに健康で成長し続ける会社であるよう努めていきます。



## 時代と会社のギャップを埋めてくれる「健康経営」【有限会社オックスの取り組み】

北海道支店マ開倶楽部\*のテーマで「健康経営」を学び当社にも必要と感じ、社内の態勢を改めて見直して今の時代に合った働き方を構築しました。認定項目に沿って「できている/できていない」項目を確認していくことで、会社の実態と今の時代とのギャップに気づき、また従業員の健康と働き方それぞれに対する意識にもギャップがあることがわかりました。このギャップを埋めていく作業をサポートしてくれるのが「健康経営」の認定制度であり、今後の人材の確保や他社との差異化にもつながっていくものと感じます。現在は朝礼でのラジオ体操、残業をしないよう声掛けの徹底、通院等における休暇制度の利用促進のほか、感染防止のためアルコール消毒薬設置、マスク着用、除菌清掃を行っています。今後もより一層「健康経営」の取り組みに力を入れていき、周囲の手本となれるよう日々精進すること、そこで得た知識を活用しながらお客様の体制整備や



有限会社オックス  
（北海道支店 帯広支社）  
代表取締役  
羽山 和広さん



東京海上日動  
北海道支店 帯広支社  
いしかわ だいすけ  
石川 大祐 支社長代理

担当社員  
の声

オックスさんは、2018・2019年度と健康経営優良法人（中小規模法人部門）に連続認定されており、十勝エリアの健康経営の普及・促進に力を入れておられます。現在では、自社の取り組みを例に挙げ、お客様に健康経営の提案を実施しています。お客様の申請書の作成支援もすることでお客様と深い関係を構築できることから、健康経営を切り口に既契約の深掘・新規開拓として「マーケット開拓」に取り組み、お客様との関係強化を図っておられます。

認定申請のお手伝いの場を増やしていくことで、地域の雇用拡大につなげていきたいと思えます。また、一連の取り組みを通じてお客様の企業特徴を深く知るきっかけとなるため、最適な保険提案によりさらなる成果を出せるよう、今後も「健康経営」に会社一丸となって力を入れていきます。



\*中小企業開拓に意欲的な募集人さんが知識・スキルの習得を図り、当社社員とともに行動研鑽する実践型小集団活動